

平成 27年度 自己点検・評価 総括

1. 学園理念

学園理念「心をこめて 心をつくして 心を伝える」に基づき、かけがえのない一人ひとりの心に寄り添い、個性を大切にする教育を目指している。

2. 教育目標

「心も体も健康で たくましく伸びゆく子ども」を目標に、一人ひとりの子どもの心に寄り添い、個性に応じた援助をしながら、生活習慣や社会性を身につけるとともに、子どもの可能性、創造性を伸長する教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係にささえられた生活、友達と充分にかかわって展開する生活、さまざまに直接的な体験ができる生活を大切にしている。

3. 本年度の自己評価

I 保育の計画性について	概ね良好である。全般的に学園・園の教育方針に基づいて教育が行われている。
II 保育の在り方、幼児への対応について	概ね良好である。子どもの安全や理解、信頼について適切に対応している。
III 教師としての資質や能力・適性について	幼児教育者としての専門的な能力を有し、生きがいを感じている。また、社会人としてのあり方についても意識して教育に当たっている。
IV 保護者への対応について	概ね良好である。保護者については、誠心誠意対応している。
V 地域の自然や社会とのかかわりについて	概ね良好である。小学校とのかかわりや地域への開放等については、積極的にかかわりを持っている。
VI 研修と研究について	全般的に研修、研究への意欲、自らを高める学習への意欲は高い。しかし、非常勤職員の評価が低いことから全体的に低い数値になっている。
VII 人事管理	法規に則り、適切に対応している

VIII 安全管理について	園児や施設設備に関する安全対策、また、衛生に対する安全管理も適切に行われている。 今後もこの安全管理を適切に行い、事故を未然に防ぐことができるように、引き続き管理していく必要がある。
IX 財務管理について	法規に則り、適切に処理されている。

4. 総合評価

- ・全般的に学園理念、教育目標に基づいて教育・保育計画を作成し、実践している。
- ・子ども一人ひとりの心に寄り添い、信頼関係を築き、子どもの力を引き出そうとしている努力が見られる。
- ・教師として能力を上げていくためには、今後とも研修、研究への参加を促し、自己啓発をしていく必要がある。
- ・安全、人事、財務管理については、全般的に概ね適切に管理されている。

5. 保護者アンケート結果

- ・本園の教育方針、教育内容について、全般的に理解を得られている様子が伺える。
- ・子どもや保護者への対応については概ね適切であるとの評価を得た。
- ・保護者が参加する行事を多くすることについては評価が低く、夫婦共働きで忙しい生活をしている様子が伺える。

6. 今後の課題

- ・教育の充実を図るため、今後とも学園理念、教育目標の理解を深め、共通認識を高めていくこと。
- ・幼児教育の専門家としてだけでなく人間としての幅を広げるために、研修への参加、自己啓発を促すこと。